

## 2014年6月通常会議 議案に対する反対討論

2014年6月20日

佐々木 松一

私は日本共産党大津市会議員団を代表して、  
議案第 99 号 平成 26 年度大津市下水道事業会計補正予算（第 1 号）、  
議案第 102 号 大津市市税条例等の一部を改正する条例の制定について、  
議案第 104 号 大津市スカイプラザ浜大津条例の一部を改正する条例の制定について、  
議案第 105 号 大津市伝統芸能会館条例の一部を改正する条例の制定について、

以上 4 件の議案に対する委員長報告に対する反対討論を行います。

まず、議案第 99 号 平成 26 年度大津市下水道事業会計補正予算（第 1 号）ですが、本補正予算は国の先導的官民連携支援事業制度を使って、上下水道事業への P F I 事業の導入等を検討しようとするものであります。しかし、上下水道という市民生活の重要な公共インフラは、低廉で安定的なサービスが提供されるべきものであり、市民の安心感という点でも公共セクターが責任を持って行うべきものであります。よって、建設運営を民間委託することを検討する本議案に反対します。

次に、議案第 102 号 大津市市税条例等の一部を改正する条例の制定についてですが、軽自動車は比較的所得の低い人が乗っている傾向があり、こうした方への生活応援の日本独自の低額な税制度として維持されてきたものであります。結局庶民増税であり、賛成できるものではありません。

さらに、議案第 104 号 大津市スカイプラザ浜大津条例の一部を改正する条例の制定については、利用料金の引き上げであり、市民負担の増大になるものであります。

また、議案第 104 号及び議案第 105 号 大津市伝統芸能会館条例の一部を改正する条例の制定については、ともに新たに市外利用者料金を設定して、今までの 1.5 倍の料金を課するものであります。スカイプラザは、音楽、演劇等の市民の文化活動の場であり、伝統芸能会館は伝統芸能を守り育てていくための施設であることを鑑みると、大津市民であるか否かを問わず、本市においてこうした催しや活動が盛んに行われることを歓迎すべきであり、ひいては観光振興にも寄与すると考えます。よって、市外の利用者であるからといって割り増しの料金とすることには反対いたします。

以上で討論を終わります。